

西成区「あいりん地域のまちづくり」 第7回労働施設検討会議 議事概要

1 日 時 平成28年5月23日(月) 午後6時45分～午後8時30分

2 場 所 西成区役所 4階 4-6会議室

3 出席者

(有識者3名)

福原大阪市立大学大学院経済学研究科長

寺川近畿大学准教授

ありむら釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長

(行政機関13名)

大阪労働局 大谷会計課長補佐、五代儀職業対策課長補佐、ほか2名

大阪府商工労働部雇用推進室労政課 地村参事、芝課長補佐、ほか3名

大阪市福祉局生活福祉部自立支援課 中辻課長、依田課長代理

西成区役所事業調整課 室田課長代理、狩谷係長

(地域メンバー15名)

西村萩之茶屋第1町会長

川村萩之茶屋第2町会長

吉田萩之茶屋第4町会長

田中萩之茶屋社会福祉協議会会長 萩之茶屋第5町会長

松繁釜ヶ崎資料センター

山田大阪府簡易宿所生活衛生同業組合理事長

西口大阪国際ゲストハウス地域創出委員会委員長

山田 NPO 法人釜ヶ崎支援機構理事長

山田 NPO 法人サポーターズハウス連絡協議会代表理事

中岡公益財団法人西成労働福祉センター業務執行理事

荘保わが町にしなり子育てネット代表

吉岡釜ヶ崎キリスト教協友会共同代表

野崎全日本港湾労働組合関西地方本部建設支部西成分会代表

稲垣釜ヶ崎地域合同労働組合執行委員長

水野日本寄せ場学会運営委員

4 議 題

労働施設の耐震化について

5 議事要旨

(1) 進行の概要

前回会議での質問について、事務局(大阪労働局、大阪府)から回答。

続いて、意見交換を実施。

(2) 主な議事の概要

《前回の議論も含めた大きな論点》

- ・コスメ跡の使用可能性について
- ・居場所の問題について
- ・南海高架下の耐震について

《前回質問の回答》

[コスメ跡地の使用可能性について]

市) 教育委員会に直接出向き、確認した。

※配布資料にて説明。

平成 28 年度の歳入予算に計上している。

議会承認がされており、今年度に売却することになっており、コスメ跡地を候補地として活用するのは困難。売却に向けた事前の取り組みとしては平成 26 年度にマーケティングリサーチを実施。

これによって売却後の方向性を検討。市場調査から市場性が把握され、その結果として地域から活性化に活用することが期待されている。このことから、その期待の実現に向けて、2 年前から売却計画が地元で立てられている。

有) ここへの仮移転は可能性ゼロということですね。

これについて、何かご意見はありますか。

※特に意見なし

《居場所の問題について》

有) 次に、居場所問題について、大阪市福祉局より説明願う。

市) ※シェルターについて説明。

昼間の居場所を用意するということで、居場所棟がオープンした。

まもなく 2 階の一部施設の整備を行い、相談スペースとしていく。

居場所棟は自由に出入りでき、談話室やテレビもある。また相談スペースを居場所と隣接させ、相談しやすい環境を作る。

シャワールームも用意しており、自由に使っていただける。

有) かなり広いスペースが居場所として用意される。

そして、さらに快適な居場所が用意されるということです。

- ・) 就労支援という位置付けなのであれば、なぜ市が発注する事業をあいりん職安を通じ、仕事出ししないのか。

有) 就労支援は大事な課題だが、今は昼間の居場所についての議論である。

別の機会にまた改めて議論してもらえたらいい。

今日は仮移転場所についての意見を聞いている。

- ・) シェルターが閉まる 5 時から居場所棟が開く 9 時までは、居場所が無くなる。そうするとまた近くで人が溜まるようになる。
新シェルターは立ち上げたばかりだからまだ難しいかもしれないが、シェルターが閉まってから、センターへ行かず近くで人が溜まるようになれば、近隣の人が迷惑する。シェルターは 24 時間型の運営で考えて、宿泊棟と居場所棟を自由に行き来できるようにしたらどうか。

市) 時間については、今後も街の状況を見て検討しないといけないと思う。

有) 利用状況は？

市) 利用状況は 100～150 人。

有) ※シェルター内部の写真回覧

有) ※利用状況をプロジェクター投影

有) こちらのほうが新しく便利できれいなものだから、活用したい。

前回シャワーの件が出たが、シェルターで使用すれば良い。

・) シェルターの居場所が 9 時に開くまでの人の流れについては市は把握しているか。

市) シェルターは野宿を余儀なくされている日雇労働者を対象にしているし、宿泊棟が閉まる 5 時という時間については、センターが開く 5 時というところに合わせて仕事を探してもらおうということを目的としている。

・) その説明はずっと以前から聞いているし行政の立場はわかるが、原則論だけで言われたら話は終わってしまう。そうではなくて現状をみて対応を考えてほしい。

・) 高齢者や生活保護をもらっている人が、昼間の居場所としてセンターに結構いる。だから、仕事や労働がメインになると、そういった生活保護をもらっている人たちの昼間の居場所が無くなってしまう。

市) 高齢者が増えているので、そのあたりは生活相談業務も充実させていきたい。

・) 高齢者でも働きたい人はいる。なぜ生活保護なのか。

有) それは確かに大切な問題ではあるが、別の場で議論する内容である。

・) シェルターの存在は周知されているのか。

・) 全部出来上がった段階で周知することを考えている。

・) 現在、センターのフリースペースが広いからたまたま全部賄う形となり、生活保護受給者や高齢者の人たちも集まっている。昔に通っていた場所だから行きやすいということもあるだろう。

しかし実際、工事中はセンターのフリースペースは無くなるのが前提であり、その間はどうするのかと。

新シェルターが今のセンターのようなフリースペースになりにくいというのであれば、公園も含めて議論すべき。一箇所だけで何もかもというのは難しいだろう。

有) シェルターは、仕事が無い日雇労働者というより、実態は、仕事があっても高齢者など仕事につけない人が使っているわけで、そういう現実を大阪市も認めて転換しないと。

有) 今のセンターは日雇労働者だけでなく、実態として、昼間の居場所として高齢者や生活保護受給者がかなりいる。そういう現状も含めて大阪市には対応してほしいと思う。

《南海高架下について》

[南海高架下の耐震について]

有) 南海の耐震は問題無いか。

事) 南海電鉄に確認したところ、今回仮移転先として検討を進めている場所は、耐震化の対象外であり問題無いので使ってくれとの回答をいただいた。

・) 具体的な数字で示さない。

事) 南海電鉄としては、耐震が必要なところに関しては順次進めている。その中で、当該場所については問題が無く耐震対象外と報告を受けている。

数値でもらっているわけではない。

・) 何が根拠になるのか。

- 事) この会議の中で、南海電鉄に確認するとお約束して、南海に確認した結果の報告である。
- ・) 貸す方は問題無いと言うだろう。
- 有) 南海電鉄の言うことが信用できないということか。
- ・) 高架下で工事しているところもあるではないか。
- 事) 南海も、一部補強をしているところはあると言っている。
だが今回の場所については補強の対象ではないとの回答を得ている。
- ・) 一番高い場所である。センターを壊す根拠として耐震が**0.2**ということなのだから同じように教えてもらわないと。
センターは当時100年壊れないということで造られている。だが病院と住宅が上にあるため接合部が弱いから少し不安だという話である。
さらに柱の構造を比較すると、南海の橋脚よりセンターの柱の方がはるかに大きい。それでもセンターを壊すという議論をしているのだから、間違いないと言ってもらわないとこちらも納得できない。
- 事) 南海からの報告では問題無いということである。
- ・) なぜ南海電鉄から言われたら信用するのか。
- 有) 南海電鉄の言う事は信用出来ないということか。
- ・) 地震が来たらセンターが危ないということで、**0.2**という数値を受けて我々も口をつぐんでいる。だから南海高架下の柱が大丈夫かと言っている。南海に聞いたらいい。何を根拠に大丈夫だと言うのかと。
- 事) 再度同じように確認はする。どういう形での根拠になるかはわからないが。
- ・) いつの基準をもってこれば安全だとかという議論もある。**1986**年の基準でも倒れたし、**2002**年の耐震構造でも壊れている。
だからセンターが壊れて、南海が壊れないという根拠を出してくれということ。
- 事) 南海さんが言っていたのは、「どんなに大きな地震が来ても壊れない」とは確約できない。だが、現行基準において高架として使う上では問題がないので使ってくれとのことである。
- ・) どんなに大きな地震とはどんな地震か。
 - ・) 新しくどんな頑丈な建物を建てても絶対大丈夫ということは多分無い。
センターがこのままだと危ないというのは常識的に考えたらわかること。だが南海高架下にいる間に高架が倒れる可能性も無いではない。両方倒れるかもしれない。両方倒れるかもしれないから、センターが倒れるまでずっと待っていようという話はおかしい。
 - ・) 病院との接合部分が一番危ないということなのに、その病院はしばらく営業したまま下だけシャッターを閉めるということだろう。
病院が一番危ないと言っているのに残るのはおかしくないか。
 - ・) 第2住宅の移転場所が決まらないと、病院の移転が決まらないからだろう。
- 市) 来年度に基本設計、その翌年に実施設計、そして着工して**2**年、という計画になっている。
- 有) いずれにせよ病院を速やかに移転していただくのは我々も望むところである。ただ我々労働施設を検討している部会としては、そこまで関与も要望もできない。
南海高架下の耐震についてはまた確認しお示しするということをお願いしたい。

[南海高架下の仮移転シミュレーション]

有) 一番大事な論点である南海高架下のシミュレーションについて。

有) (パワーポイント提示)

前回、北公園と南海高架下のボリュームスタディを示した。その中で、南海高架下は面積的には現状センターの機能が入り、北公園はかなりギリギリになるので、前の小学校などを使わないと厳しいだろうということをお示した。

また、寄り場の広さや、シャワー、駐車スペース、どこまでを仮設の機能として残し、本設にはどのような機能を持っていくか、どこまで必要なかという議論があった。

・) あいりん職安の求人機能が抜けている。

有) 新たに加わったので追記する。(求人求職受付・仕事紹介を追記)

・) センターの一番の機能は朝の相対紹介である。今は居場所のようにになっているが相対紹介が良いか悪いかという議論は別として、本来はそうである。

そのために駐車スペースがある。そこが一番のメイン。

ホームレスになった仲間の休憩所という問題もあるが、みんな仕事についてアンテナ張って情報を集めている。シャッターが開いたときに皆が一気に入って行くのはそのためである。

・) 南海の具体的なシミュレーションをやるのではなかったのか。

・) ここで決定してからになる。

・) 仮移転場所として南海の他にどこがあるというのか。

機能の項目だけ決める会議なのか。

有) これから決める。場所の確定をしてもいいかということも決める。

事) 今は改めて確認させてもらってる。

・) 住宅でも今よりも良い所になるという話してから、引越しの話が始まる。

行って帰ってきて大体こんな感じ、ということが欲しい。

有) この検討会議で本設で何が必要かということをお話していくと言っている。

有) 本移転先の広さのことを気にされているのか。

有) 例えば今のセンター跡であればどれぐらいの建物ができるかという画が欲しいということか。

・) ある程度そうだ。

有) ある程度の意味がわからない。

・) 100%とは言わないが、仮移転で出て戻ってきたらバラック一つという状態にもなりかねない。だからある程度の本設イメージが欲しい。

有) ある程度と言うが、やる作業は結局同じぐらいになる。

有) 現状の機能が本移転でどうスライドして確保されるかを確認したいということか。

・) そう。それが見えない。

有) それを、ここから先2年ぐらいかけてじっくり考えていこうということである。

有) 第5回の時に仮設議論と併せて本設の機能について議論していこうということの確認したはず。

・) 仮移転のことばかり進んでると、私はそう受け止めてしまう。

・) 出ている団体の意見として、コスメ跡の回答は持ち帰る。

どういう反応が出るかはわからない。

また、6月には仮移転についてある程度決めたいとのことについて報告したが、

全体の中で、行政のスケジュールに追われて今のように中身の議論において場所と機能の話がぐちゃぐちゃになっている。

整理していかないと中々具体的な提案が出てこない。

団体側から、こういうものが必要である等、現状の悪いところを直していくことを仮移転段階でやっていかなければならないという話が出ている。

こうすれば、こうなる、ということが提案できるように具体的に話できればと。

有) そういった提案は大いに期待している。

有) 仮移転の話ばかりではなくて、本移転の中身の話をしていかないとイメージがわからないということで、今日は本移転議論の第一歩として、先生にパワーポイントにまとめていただいたということ。

有) 本移転議論については、場所のたたき台が無いと具体的な画を作るのは難しい。

例えばイメージのたたき台として、もし南海高架下であればどういった機能が入り、今言われていることができるかということを見ていくことは可能。

事) まずは初歩的な段階で、仮移転で面積的に入るかどうかが目で見てわかる形で見てください。

有) そして面積的には入るとのこと。細かくみたら、高架下は柱が沢山あるので図面を描かないとわからない。

- ・) 今のセンターのエリア空間からしたら、南海高架下なら4分の1ほどになる。そして本設の時にもまた減るといふことであれば、そんなイメージとして受けるということ。

有) 先ほどもあったように、町全体の機能を見直していくことも仮移転において重要だろう。

- ・) 仮移転なのだから、どこかで支障が出てくるのは仕方がない。今のセンターを全部吸収するなんて無理なのだから。南海高架下しかないということであれば、仮にそれでやってみて、前に進んでみないと。

「それなら南海高架下で進んでみたらどうか。」ということでもいい。具体的な形を作って示し、これでどうか、という形で進めていけばいいと思うが、いかがか。

有) コスメ跡はもはや望みは無いと伝えたつもりである。

残っている場所は南海高架下と北公園のみ。

そして北公園は狭い。だが今のセンターのスペースをそのまま南海高架下へ移転というのは難しい。とは言え他にも場所はない。

だから耐震の問題がクリアできれば、ここしかない、ということ。

- ・) 本移転はもっと広いところを探せばいい。今は仮移転でしょう。多少の犠牲を払いながらやって、仮移転はとりあえず、同じことばかり繰り返さないで前にすすめたらいい。もう具体的な話を出せばいい。
- ・) 引越しを迫られている身としては、例えば4分の1になるとしても、減る話ばかりだから、多少労働者にとってもいい話があるというようなことが本移転であればと思う。それを我侘だとして対処してほしくないと思う。

少なくとも大きな枠組みを示してもらわないと、本設で何ができるかわからない。

有) 南海高架下にするとして、狭さはやむを得ないが、機能を残すことに加えてより効果的な職業紹介をできるような仕組みを考えたいということは前回から言っているところである。それを踏まえて皆さんから具体的な案を今後是非ともいただきたい。

- 有) また、センターの寄り場を利用する労働者が全盛期に比べてかなり減ったということ
を前提に、これからの話を進めていくということは、前回まででお話しさせても
らってきた。
- ・) 前回も言ったが、「高架下で議論させてくれ」という話がぜんぜん出てこない。
次もまたボヤけたままなのか。はっきり前に進めていかないと。
具体的な設計を出して議論していこうという話がなぜ出てこないのか。
現状高架下しかないのだから、高架下で決めて前に進めて欲しい。
我々にとっても時間の無駄である。
 - ・) だったら現状のままでいいではないか。
- 有) 現状のままではいけないから議論している。
- 有) 色々議論いただきましたが、少なくともコスメ跡は無いということ。
南海高架下と北公園が残ったが、広さが確保できる南海高架下を仮移転場所とする
ことを前提に議論し、中身を具体的に議論していくこととしたいと思う。
もう一つ、行政側も予算措置が必要であり、このタイミングで決めていかないと
いけない。だから納得してもらいたいということで中身を示してきた。
いかがか。私なり、有識者を含めて、南海高架下しか無いと判断している。
- ・) それでよろしい。(拍手)
労働団体も折れるところは折れないと。自分たちの要望が**100%**通るわけではない。
 - ・) 何を折れると言うのか。
 - ・) 南海高架下しかないと言っているのに、駄目だというのは、何か他に期待すること
があるからではないのか。
 - ・) 駄目だとは言っていない。耐震性を示してくれと言っている。
いい加減な返答をするからこうなるのだ。
- 有) いい加減な返答とは何か。
- 有) 南海高架下の耐震については南海に改めて確認し、報告する。
ただ、考えたら他もう仮移転先は何処も無い。
- ・) 南海がつぶれるぐらいの地震が来たら他もただではすまないということだ。
- 有) 有識者としては、利便性や実現可能性を勘案しても、南海高架下しかないと思
えている。
次回の会議で、南海高架下で具体的にどういった機能が持ち込めるか、について検
討を行う。そして新たにこういう機能があったらいいな等の提案があってもいいと
思う。
あわせて、本移転のイメージについても一回ですぐ具体的なものは出せないが
中身をこれから皆さんと一緒に考えていきたいと思う。
- ・) 労働者が安心して働ける環境が基本である。
- 有) では、具体的なイメージをつくるということではよろしいか。
- 有) はい。
今日の会議では、仮移転場所を南海高架下とするということで、持ち帰りいただき、
それを前提に中身の提案がほしい。そしてまちづくり会議に報告する。
この検討会議において、次回、仮移転場所を正式に決定する。

【まとめ】

- ・南海高架下の耐震について再度整理し、報告。
- ・南海高架下を仮移転場所とし、次回会議でそれを前提にどんな機能を持ち込めるか具体的なイメージ、提案を出していく。
- ・併せて、本移転のイメージも今後示していく。
- ・次回仮移転場所を正式に決定する。

6 第8回労働施設検討会議の日程について

次回検討会議 → 6月24日(金) 午後7時00分～ (後日、開催を案内。)